

令和元年9月27日

養父市議会議長 深 澤 巧 様

養父市文化会館（仮称）建設調査特別委員会

委員長 足 立 隆 啓

養父市文化会館（仮称）建設調査特別委員会中間報告

閉会中において、本委員会の所管事務につき、調査したことを次のとおり中間報告する。

記

- 1 調査年月日 令和元年8月5日（月）、9月3日（火）
- 2 調査事項 養父市文化会館（仮称）整備事業の進捗状況について
- 3 調査内容

市民生活部文化会館建設推進室、CM（コンストラクション・マネジメント）委員会委員長及びCMR（コンストラクション・マネージャー）から、実施設計業務の進捗状況等について説明を受け、調査を行った。

（1）整備事業の進捗状況について

現在は、設計者・施工者・CMR・発注者の四者により、基本設計図書の内容を精査・検討しながら実施設計をまとめる段階に入っている。9月から10月にかけて建築確認申請等の手続や着工準備を終え、11月22日に起工式及び安全祈願祭を予定している。その後本工事に着手し、令和3年5月末までに建設工事を完了させ、令和3年9月にグランドオープンの予定である。

なお、実施設計段階における主な検討事項は、

- ① 図書館・公民館棟の屋根の構造を鉄筋コンクリート造から鉄骨造とする。また、室内の木質化を図り養父市産材を使用する。
- ② ホール棟のフライングタワーは陸屋根から勾配屋根とする。
- ③ 屋根材はすべて瓦を採用する。

の3点であるが、ほかに100項目以上について、品質の低下を招かず、材料の特徴、価格、メンテナンス、ランニングコスト等で有利な施設になるよう総合的な検討を行っている。

（まとめ）

実施設計業務が完了し建設工事が始まれば、市民や周辺住民の関心も高くなる。事業費の増加や実施設計における変更点、完成までのスケジュールなど当

初の計画から変更された事項について、市広報紙やCATV、プレスリリースなど多様なメディアを通じ広く市民への周知を図り、市民の理解と協力のもとに事業推進を図りたい。

また建設用地は、浸水想定区域や土砂災害区域にあるが、災害想定時には指定避難所への指定が予定されているため、災害時の対応も含めた周知が必要である。

本委員会は、今後控える新たな管理運営体制などのソフト面や現施設（八鹿文化会館・八鹿公民館）の取り壊しなど、本事業の多岐にわたる課題を踏まえ、まちづくりの拠点施設実現に向け、さらに調査を行う予定である。